

## 第5期ちえのわ農学校 活動報告

2009年度は、「子どもたちが『種から胃袋まで』の道のりをたどることで、自然とのつながり、命の大切さを感じるきっかけづくりを目指した活動」を目的として、畑作業や稲作、そのほかさまざまな活動を行いました。

### [第1回 4月18日：はじめまして！春の農園を散策しよう] \* 保護者説明会実施

今年度最初の活動では、自己紹介ビンゴやクイズを通してオリエンテーションを行いました。アイスブレイキングではまだ不安げな顔もちらほら。しかし畑作業や農園散策をするうちにだんだんとうち解けてきたようです。農園散策ではタケノコを発見！土から出ているタケノコを初めて見たという子も多かったようです。一生懸命に掘って掘って...「あと少し!」「ここが固いんだなあ」元気な声が飛びかいました。

・開校式、自己紹介、アイスブレイキング



・畑（畝たて、夏野菜種まき）



・農園散策・・・たけのこ掘りなど



・採ったタケノコはお昼の炊き込みごはんに！



力を合わせて・・・せーの！

## [第2回 5月16日：パン窯を使ってオリジナルピザを焼こう！]

2007年度に完成したパン窯を使ってピザづくりを行いました。子どもたちの個性的なピザ、粉の状態から一生懸命にこねて、最初は硬かった生地もどんどんやわらかくまとまっていきました。生地を発酵させてびっくり！大きく膨らんでとってもふわふわ、すべすべでした。その後、思い思いの形にし、焼きあがったピザのおいしさは格別でした。

畑では間引きや草取り、移植を行いました。たくさんの芽の中から、丈夫なものを残します。

・ピザ作り（生地をこねる、発酵、デザイン、パン窯で焼き上げ...）

・畑(間引き、草取り、移植)



### [第3回 6月20日：田んぼの始まり！目指せ、ちえのわ米]

活動のメインは田植えでした。ひんやりとした泥の中に入っての作業です。一步ずつ、みんなでテンポをそろえて植えていきます。田植え後に始まった泥合戦は大盛り上がり。最初は躊躇していた子どもも一度泥をかけられれば、もう仲間入り。キラキラした子どもたちの笑顔が印象的でした。

・ 田植え



・ 泥遊び



・ 畑の手入れ。( キュウリの誘引です )



・ 農園の竹で竹細工 ( 手作り竹馬 )



## [第4回 7月11日：夏野菜の収穫だ！ちえっこシェフのみんなで料理]

待ちに待った収穫です。トマト、きゅうり、かぼちゃ、ピーマン...各野菜の素材の味を活かした様々な料理が昼食に並びました。普段家で料理をしない子どももとっても真剣、スープやサラダ、野菜炒めなど見た目も味も素敵なお昼ご飯でした。

午後は先月植えた田んぼの草取りや、ももの収穫、シュロの葉でバッタ作りなどを行いました。

### ・ 夏野菜収穫、昼食作り



カボチャの皮から種まで、どこも捨てないで作りました。盛り付けにもこだわって...ハート！



### ・ シュロの葉バッタづくり



奇跡のショット、どっちが本物！？

## [第5回 8月24、25日(宿泊): さぁお泊り! 丸二日間、楽しもう]

普段の活動場所である東京学芸大学の環境教育実践施設にテントを張ってキャンプをしました。

一日目の晩御飯はグループ対抗カレー対決です。午前中おいしい素材を求めて、小金井の直売所めぐりをしました。農家の方と直接お話しすることもできて、大満足だったようです。

夕方には共催団体であるNPO 自然文化誌研究会のみなさんに、山梨県の小菅村から新鮮なヤマメを運んできていただきました。恐る恐る魚をさわって、さばき方を教わる子どもたち。「命」を強く感じながら、ありがたくいただきました。夜は虫の声を聞きながらナイトハイクをして、テントで眠りにつきました。

二日目は、4月から育ててきた藍を収穫して藍染めを行いました。緑色の葉からきれいな藍の色に染まる不思議...日本の文化に触れた瞬間でした。そして今月から秋冬野菜が始まります。畝たても種まきも二回目です。4月の活動よりも少し頼もしい姿が見られました。

・小金井散策～直売所めぐり、地場産野菜でカレー作り～



・やまめの塩焼き(捌いています)

・畑(夏野菜収穫、秋冬野菜種まき)



・藍染め



## [第6回 10月10日：秋を存分に楽しもう] 午後のみ活動

きれいな秋空の下で開催されました。大学構内をまわってどんぐりやくヌギを集め、自分だけのオリジナルアクセサリーを作りました。ま、どんぐりの中をくりぬいて作った笛は、きれいな音が鳴りました。

畑では、野菜に混じって生えてきた雑草を一生懸命ぬいて、適切な環境を整えます。

・どんぐり、くぬぎを使っの工作

・野菜の手入れ



・柿ジャム作り



## [第7回 11月14日：いよいよ稲刈り]

6月に始まった田んぼは稲刈りでした。カマを使って稲を刈り、束ねる作業は思ったよりも根気が必要です。みんな黙々と作業に熱中していました。稲刈りが終わったみんなを待っていたのは、いっぱい落ち葉の中でほくほくに焼きあがった焼き芋。最高のおやつにみんなにっこり笑顔でした。

・稲刈り

・焼き芋



## [第8回 12月19日：収穫の喜び～ちえのわ産の野菜とお米～]

7月の農学校と同じく、今度は冬野菜を収穫して昼食作りでした。農学校で何回か料理をこなしてきただけあって、子どもたちの手つきはともしっかりしていました。お米も先月収穫したちえのわ米（スタッフが事前に一部脱穀しておいたもの）を使用し、この日の昼食はちえのわ産の素材であふれていました。

午後は先月に収穫したお米の脱穀・精米をしました。昔ながらの農具である、足踏み脱穀機、とうみを使つての脱穀に、子どもたちは興味津津でした。その後の精米機からさらさらと出てくる白いお米には歓声があがりました。

また、来年に向けて大学内の落ち葉を集めて、田んぼにまきました。みんなで落ち葉合戦をしたため、遊びながらあっという間に一面落ち葉が広がりました。

### ・ 冬野菜収穫、昼食作り



### ・ 脱穀（ 足踏み脱穀機に挑戦）



### ・ 精米



## [第9回 1月9日：一年間楽しかったね！]

いよいよ最終回です。

午前中は農園にある自然の物を使って書き初めを行いました。木の枝や稲、ゆず、枯草...子どもたちは思い思いのもので自由な作品を仕上げていました。また、全員で大きな半紙にちえのわ農学校での思い出を書き込み、一年間を振り返ったすてきな作品が完成しました。

午後はまず畑の撤収です。重い農具を使って畑を耕す姿はとても頼もしく様になっていて、子どもたちの成長を強く感じました。その後はみんなでどろけいをしました、子ども同士のきずなも強く感じました。

最後は一年間を振り返るスライドとカルタ、そして修了式です。保護者の方にもお越しいただき、子どもたちはちょっぴり緊張気味の雰囲気の中無事農学校を終えました。

・書き初め～自然物を使って～



・畑の撤収



・思い出カルタ、振り返りスライド、修了式





2009年度第5期ちえのわ農学校は、小学校3~6年生までの計10人を対象に開催しました。

今年は「種から胃袋まで」を理念として掲げ、畑作業や稲作、様々な文化体験を通して、子どもたちとともに私たちスタッフも大きく成長することができました。

農薬を使わない野菜作りでは、新芽を虫に食べられてしまったこともありました。子どもたちは残念がっていましたが、虫たちも生きていくためにこの野菜が必要だったのだと学ぶことができました。

4月の初めての活動では保護者にぴったりとくっついて不安げな様子だった子どもも、回を重ねるごとにハツラツとした笑顔が見られるようになり、スタッフとともにあちこちを駆け回り、重たい農具を持って畑を耕してくれるまでになりました。

最終日に行ったアンケートでは、様々なご意見ご感想をいただきました。その中から一部をご紹介します。

#### 子どもの声

「(田植え)みんなで息をそろえていっしょにやるのが楽しかった。」

「おいしい野菜のおかげでできらいたった野菜もたべれるようになりました。」

「いつも食べている野菜が、こんなに手間がかかるとは思いませんでした。」

#### 保護者の声

「ちえのわに通うようになり、学校生活でも積極的に人とかかわるようになってきました。」

「子供がこの一年で、何か...物事をじっくり考える姿は大きな変化です。」

「普段はできない『しろかき』でのドロドロ体験などは特にうれしそうでした。」

一年間の活動を通して、子どもたちのこうした変化が何よりの成果であったと思っております。

私たちの活動にご協力をいただき、また、いつもあたたかく見守ってくださり、本当にありがとうございました。ここに厚く御礼を申し上げます。

そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

東京学芸大学サークルちえのわ  
第5期 スタッフ一同